

備前市事務事業評価シート

(平成24年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和17年～		根拠法令・例規等
総合計画	大項目 基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり	市民課
	中項目 基本施策	04 安全で安心に暮らせるまちづくり	
	小項目 施策	03 安全・安心な環境の高揚	
事務事業名	02 防犯施設整備事業	このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的		Plan
対象 (誰・何に対して)	国道2号線及び250号線のスポンサー付の水銀灯及び日生地内の防犯灯	
目的 (何のために)	犯罪の発生を抑制するために設置した防犯灯などの維持管理をする。	
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	日生地内の防犯灯は、市と町内会の維持管理している防犯灯の位置を明確にし、今後の管理を検討する。	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	防犯灯管理事業	昭和56年頃に設置した国道2号線のスポンサー付の水銀灯は、老朽しており国土交通省と協議し、順次撤去する。国道250号のスポンサー付の水銀灯及び吉永地内の水銀灯の球切れ交換をする。日生地内の防犯灯は、市と町内会が管理の防犯灯について、今後の管理を検討する。	

決算額	事業費等		単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	事業費	直接事業費	千円	1,672	2,149	1,367
	必要人員	人員費	千円	0.20人	1,894	2,004
	事業費	事業費	千円	3,700	4,043	3,371
	財源	国庫支出金				
		受益者負担				
		繰入金				
		市債				
		その他( )				
	一般財源		3,700	4,043	3,371	
受益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名	単位	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績
	結果指標量	説明	125	125	125
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,611,657	2,266,740	2,744,601
	単位当たりコスト		20,893	18,134	21,957

事業の成果						
電気料金支払灯数	成果指標名	年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度目標値
	目標値(A)		100	100	100	100
	実績値(B)		122	120	120	到達目標値
達成率(B/A)		122.00%	120.00%	120.00%	100	
成果指標設定の考え方・式や説明						
市が電気料金を支払っている防犯灯の数						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない事業の内容が一部の受益者に偏っている対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である事業開始当初の目的から変化してきている事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 <A-F> C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地があるコスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい受益者負担率は適正である受益者負担率を見直す余地があるサービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-F> C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である成果指標の到達目標値は達成できそうである成果指標達成率は前年度と比較して向上している成果指標達成率は80%未満となっている現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい事業について積極的にHPや広報等で情報提供している事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A-F> C

進行年度(H25年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	市管理の防犯灯の内、現地調査により管理不明な防犯灯を無くすよう、中国電力と協議する。

総合評価		総合評価
防犯施設の整備は、安全安心の観点から、犯罪発生を未然に防ぐために重要であるが、市と地域の役割分担を構築し、地域の自主管理の推進による効率化を図る必要がある。		A B C D E 高や普や低いや通やいい 高低
		C

平成26年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	引き続き、市が管理している防犯灯数について、現地調査及び中国電力と協議して、管理灯数の削減に努める。	

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しながら